

西暦	元号	主なできごと
1927	昭和2	.3 金融恐慌始まる .4 枢密院，台湾銀行救済緊急勅令案否決，若槻内閣総辞職。3週間のモラトリアム（支払猶予令）実施（緊急勅令）
1928	昭和3	世界恐慌と不況の深刻化 .2 初の普通選挙実施 .6 張作霖を爆殺（満州某重大事件）
		世界恐慌と不況の深刻化 ◇ファシズムの台頭と大陸進出
1930	昭和5	.1 金解禁実施。ロンドン海軍軍縮条約参加（全権若槻礼次郎） .4 軍縮条約に調印，統帥権干犯として政治問題化
1931	昭和6	.9-18 関東軍，柳条湖付近の満鉄線路爆破（満州事変の開始） .12 金輸出再禁止 ◇北海道・東北大飢饉，娘の身売り盛ん。農村恐慌深刻。
1932	昭和7	.2 リットン調査団来日 .3 満州国建国 .5 犬養首相射殺（五・一五事件） .9 満州国承認，日満議定書調印
1933	昭和8	.2 連盟総会，日本の満州撤退勧告案を42対1で可決。松岡洋右代表退場 .3 国際連盟を脱退
1934	昭和9	.3 満州国帝制実施（皇帝溥儀）
1935	昭和10	.8 国体明徴声明
1936	昭和11	.1 ロンドン海軍軍縮条約から脱退 .2 二・二六事件 .11 日独防共協定調印
1937	昭和12	.7-7 盧溝橋事件（日中戦争開始） .11 日独伊三国防共協定調印 .12 南京事件
1938	昭和13	.1 「国民政府を相手とせず」と声明（第一次近衛声明） .4 国家総動員法交付 .11 政府、東亜新秩序建設を声明（第二次近衛声明）
1939	昭和14	戦時統制経済の強化 .5 ノモンハン事件 ⑤ .9-1 独軍、ポーランド侵入（第二次世界大戦始まる）

大正～昭和期の人物史②

近衛文麿 生没年1891～1945。五摂家の近衛家当主。3度にわたり内閣を組閣。国民の期待は高かった。国家の戦時体制を構築し、アメリカとの決戦に備えるも戦争の直前に辞任。戦後戦犯として逮捕命令が出るが直後に自

松岡洋右 生没年1880～1946。元満鉄総裁。第二次近衛内閣で外務大臣。国際連盟脱退時の日本全権。日独伊三国軍事同盟、日ソ中立条約を調印。対米開戦回避を模索するも断念。戦後A級容疑で逮捕。公判中に病死。

杉原千畝 生没年1900～1986。日本の外交官。リトアニアの総領事館赴任時に、ナチス・ドイツの迫害による欧州各地からの難民（大多数はユダヤ系）に大量にビザを発給し命を救う。「東洋のシンドラ」-といわれる。